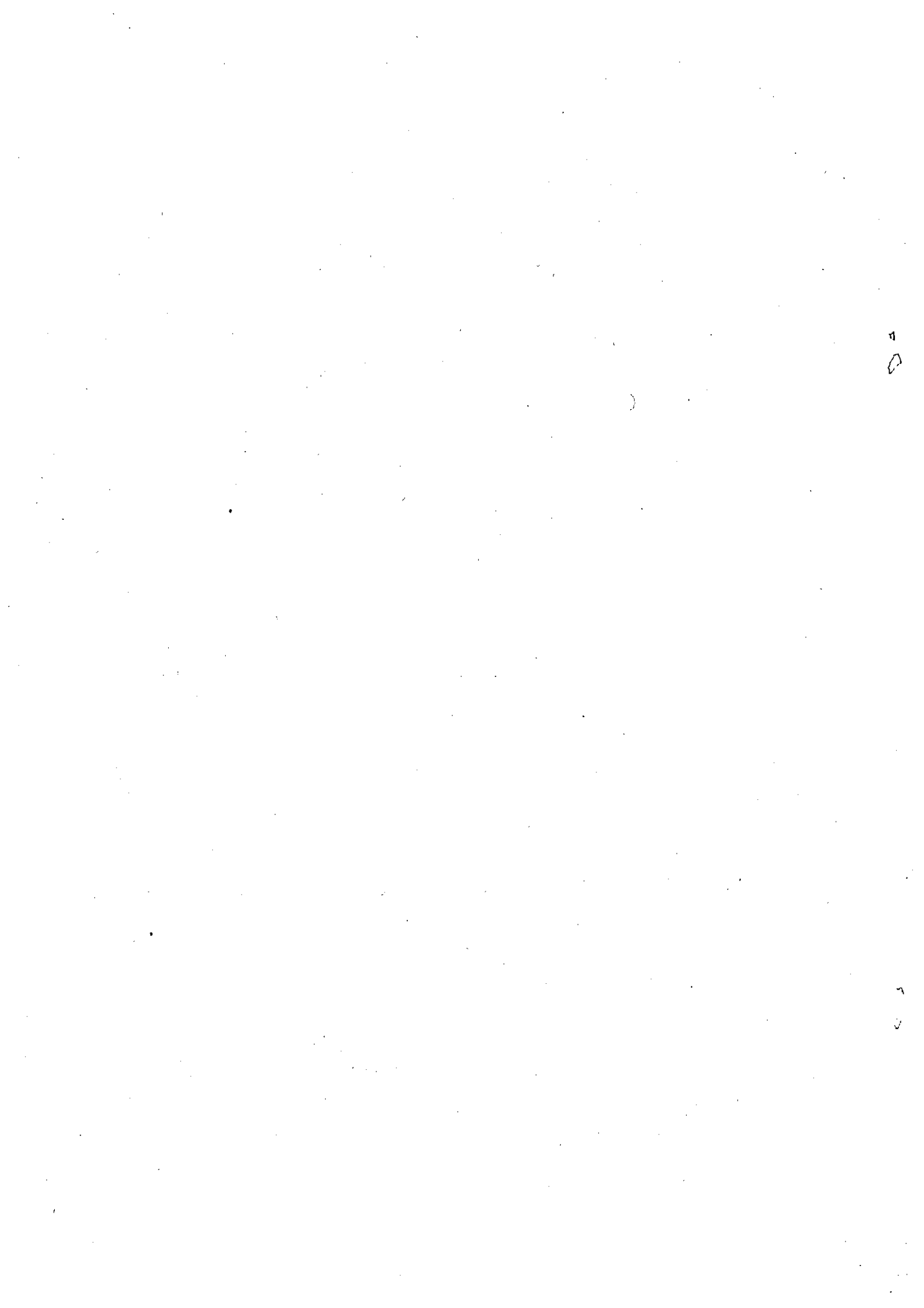


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成27年8月21日)

- 平成27年上半期の交通事故発生状況等について 1
(交通部交通企画課)
- 平成27年上半期の特殊詐欺被害状況について 3
(生活安全部生活安全企画課)
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 4
(警務部会計課)

警 察 本 部

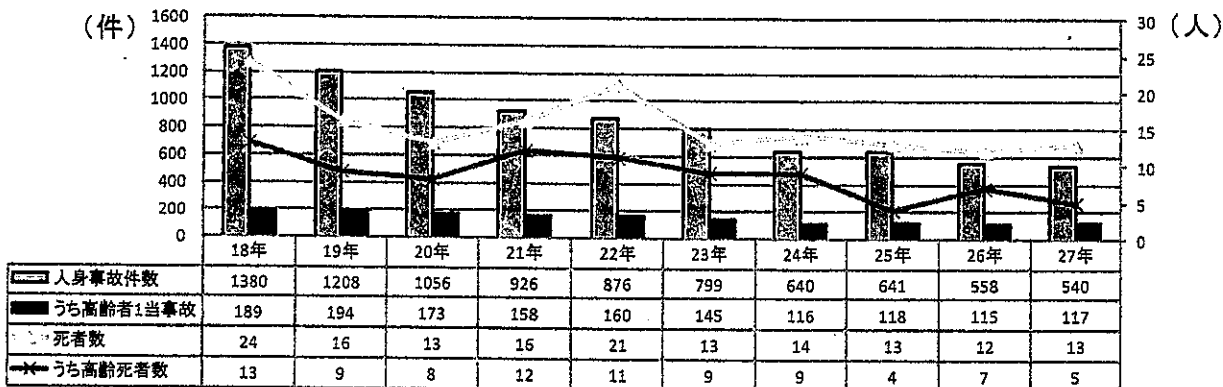


平成27年上半期の交通事故発生状況等について

平成27年 8月21日
警察本部
(交通部交通企画課)

平成27年上半期の交通事故発生状況等について、下記のとおり報告する。
記

1 人身事故発生状況の推移 (各年6月末)



- 人身事故件数は減少し、平成18年より840件（-60.9%）減少している。
- 高齢者が第1当事者となる事故は平成18年より72件（-38.1%）減少している。
- 死者数は平成18年より11人減少（-45.8%）したが、平成23年以降は下げ止まりである。

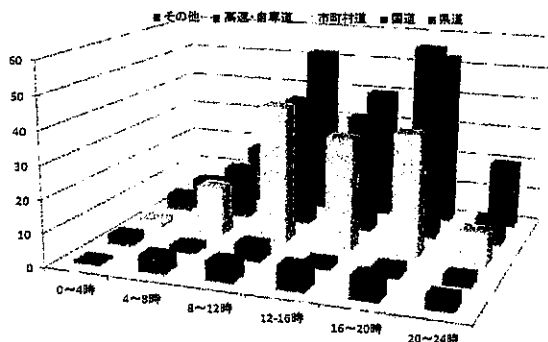
2 事故総数前年対比 (各年6月末・物件事数件数は概数)

	人身事故	物件事数	事故総数	死亡事故	死者数	負傷者数
平成27年	540件	9,424件	9,964件	12件	13人	643人
平成26年	558件	9,698件	10,256件	9件	12人	660人
増減数	-18件	-274件	-292件	+3件	+1人	-17人
増減率	-3.2%	-2.8%	-2.8%	+33.3%	+8.3%	-2.6%

- 事故総数及び負傷者数は僅かに減少したが、死亡事故は件数、死者数とも増加している。

3 上半期の人身事故の特徴

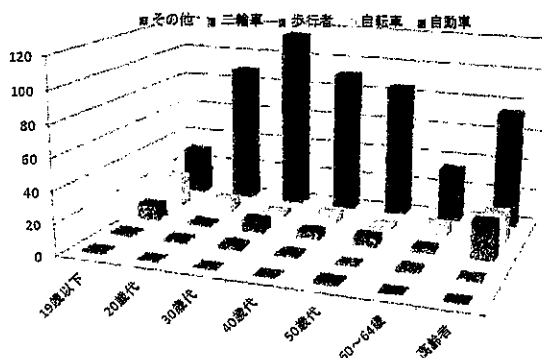
(1) 時間別×路線別発生件数



	国道	高速・自動車道	県道	市町村道	その他	合計
0~4時	5	3	5	2	1	16
4~8時	18	2	18	15	5	58
8~12時	40	5	52	42	6	145
12~16時	36	2	40	34	7	119
16~20時	59	3	53	37	7	159
20~24時	8	3	20	10	4	45
合計	164	18	188	140	30	540

- 8時から20時の間に423件（78.3%）発生している。
- 幹線道路である国道、県道で352件（65.2%）発生している。

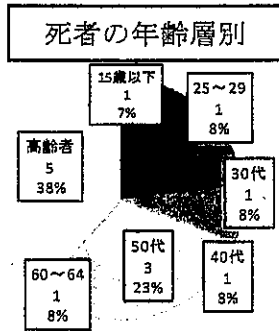
(2) 年齢別×状態別死傷者数



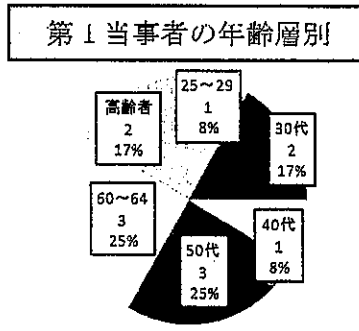
	自動車	二輪車	自転車	歩行者	その他	合計
19歳以下	30	2	20	10	1	63
20歳代	89	2	8	2		101
30歳代	115	3	3	8		129
40歳代	91	2	6	5		104
50歳代	85		2	6	2	95
60~64歳	34	2	7	3		46
高齢者	74	1	19	24		118
合計	518	12	65	58	3	656

- 自動車乗車中の死傷者が78.9%を占めている。
- 歩行者のうち、高齢者が41.4%、自転車は高齢者が29.2%を占めている。

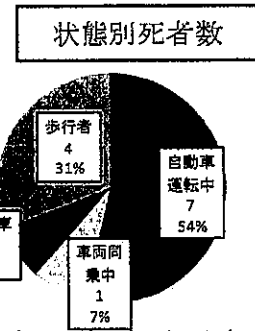
4 上半期の交通死亡事故の特徴



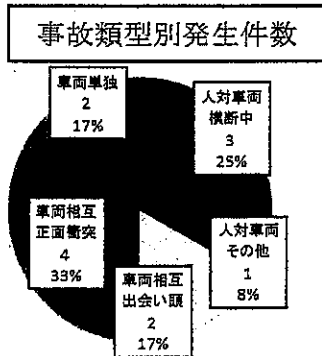
- 高齢者の割合が高い。(13人中5人)



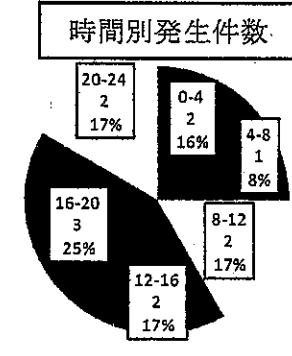
- 50代、60~64歳が多い。(12件中各3人)



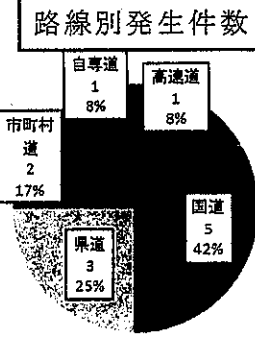
- 自動車運転中が多い。(13人中7人)



- 走行車線からはみ出し事故が多い。(12件中6件)



- 昼間6件、夜間6件発生している。



- 幹線道路での発生が多い。(12件中10件)

5 7月以降の交通死亡事故発生状況と特徴 (7月1日~8月18日) ()は死者数

区分	発生件数	死者数	事故類型別発生件数				
			人対車	自転車対車	正面衝突	単独	計
平成27年	8	10	2 (2)		1 (3)	5 (5)	8 (10)
平成26年	5	5		1 (1)	1 (1)	3 (3)	5 (5)
増減	3	5	2 (2)	-1 (-1)	(2)	2 (2)	3 (5)

- 8件発生し、10人死亡(前年比+3件+5人)している。
- 走行車線からはみ出し事故が6件(75.0%)、内5件は単独事故である。
- 高齢者が第1当事者となる事故が5件(62.5%)発生している。
- 病気治療中のドライバーによる死亡事故も発生している。

【交通死亡事故多発警報発令】

・第2号 7月19日(日)~7月28日(火) ・第3号 8月4日(火)~8月13日(木)

6 今後の交通事故抑止対策

- 交通事故分析結果に基づくPDSAサイクルによる交通指導取締りの実施
交通総合管理システムにより、交通事故発生地点と交通違反取締地点をクロス分析し、事故多発地点・路線・時間帯における交通指導取締りを実施する。
- 幹線道路における速度抑制対策等の推進
高速道路、国道等の幹線道路を走行する車両の速度抑制を図るため、速度取締り及びパトカーの赤色灯を点灯したレッド走行、駐留監視を強化する。
- 高齢者に重点を置いた被害・加害事故防止対策の推進
 - シルバー・セイフティ・インストラクター等と連携した交通安全教育を推進する。
 - 医師会等に対し、病気、体調不良者等に対する運転差し控え指導の働きかけを推進する。
- 関係機関と連携した広報、啓発活動の推進
関係機関、団体と連携して各種の広報媒体を活用した広報、啓発活動を推進し、県民の交通安全意識の向上を図る。

平成27年上半期の特殊詐欺被害状況について

平成27年8月21日
警 察 本 部
(生活安全部生安全企画課)

平成27年上半期の特殊詐欺被害状況について、下記のとおり報告する。

記

1 被害の現状

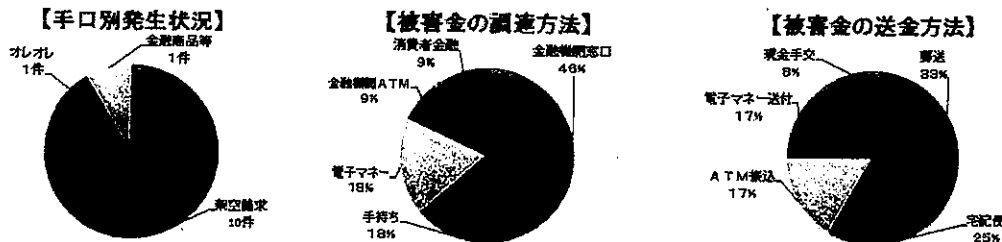
(1) 全国及び中国管区内の被害発生状況（6月末）

(金額単位：千円)

	全国		鳥取		島根		岡山		広島		山口	
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
H27.6末	7,007	23,652,333	12	18,584	35	100,793	118	964,443	216	949,481	54	167,561
H26.6末	6,155	26,982,319	14	80,306	22	140,610	70	470,810	143	652,772	56	265,769
前年対比	852	-3,329,986	-2	-61,722	13	-39,817	48	493,633	73	296,709	-2	-98,208

- 平成27年6月末時点、全国の特殊詐欺発生状況は、前年同期比の件数は852件増加(13.8%)し、被害金額は約33億円減少(12.3%)した。
- 本県は、平成27年6月末時点、前年同期比で認知件数は2件減少(14.2%)、被害金額は61,722千円減少(76.9%)で、被害件数、被害金額とも中国管区内で最少である。

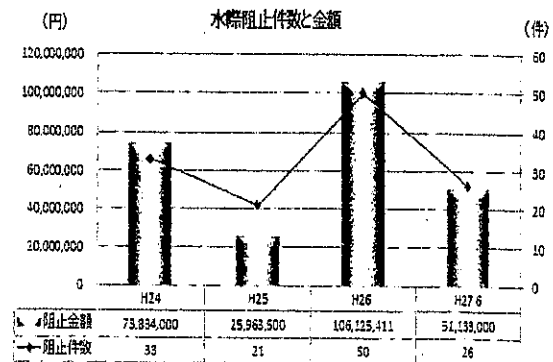
(2) 6月末現在の被害発生状況



- 平成27年6月末時点、本県の特殊詐欺発生状況は、認知件数12件、被害金額18,584千円である。
- 手口別では、オレオレ詐欺1件、金融商品等詐欺1件、架空請求詐欺10件で架空請求詐欺が最も多い。
- 被害金の約46%が、金融機関窓口で調達されている。
- 被害金の約58%が、郵送、宅配便等により送金されている。

2 本県の水際阻止状況

- 阻止件数は増加、阻止金額は減少
本年6月末時点で、阻止件数26件(前年同期比3件増加)、阻止金額5,113万円(前年同期比1,772万円減少)である。
- 阻止率は増加
本年6月末時点で、認知件数8件(未遂件数4件を除いたもの)に対し、阻止件数26件で、阻止率は76.5%(前年同期の阻止率62.5%)である。
- 6月末の阻止率は全国第1位
本年6月末の阻止率は、76.5%で全国第1位



3 上半期における抑止対策

- 特殊詐欺被害防止アドバイザーを運用し、金融機関・コンビニエンスストア・宅配業者に対するロールプレイング方式の声掛け指導による水際対策を強化した。
- 医療機関と連携した特殊詐欺被害防止対策「Dr. ポリス作戦」を実施した。
- 中国財務局財務事務所及び鳥取県金融機関防犯協議会との協定を締結した。
- 郵便局との協定を締結した(東部地区の郵便局から全県下に拡大した。)
- あんしんトリプルメールを活用した不審電話及び被害認知時における情報発信をした。
- 鳥取県・県警ホームページに特殊詐欺被害防止動画を掲載した。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

警察本部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
警察会計課	鳥取県運転免許センター一新築工事(建築)	鳥取市 吉方温泉 二丁目	鳥取県運転免許センター一新築工事(建築) ジューケン・都市特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社ジューケン 代表取締役 加藤 辰宏 構成員 株式会社都市建設 代表取締役 勝原 伴仁	461,160,000円 (予定価格) 468,149,760円	平成27年8月14日 ～ 平成28年5月16日	平成27年8月13日	制限付 一般競争入札